

筆者の一人吉田は、北海道北部に位置する利尻島においてアリヅカムシの採集を行い、本種を採集した(図1)。この標本を野村が同定し、本稿を作成した。利尻島からは、野村・吉田(2019)によって、7種のアリヅカムシが知られるが、本種は未記録であり、利尻島から8種目のアリヅカムシとなる。

今回得られた標本の形態について詳細に検討したところ、フォッサマグナ以东の東日本からこれまで知られていた、本種の名義タイプ亜種 *ssp. fossulatus* に属することが確認された。これに基づいて本種の分布図を描き直すと、図2のようになった。

<採集データ> コヤマトヒゲブトアリヅカムシ名義タイプ亜種, 1♂1♀, 北海道利尻町字神居(標高22 m, N45°9'39" E141°8'47"), 24. vi. 2019, 吉田正隆採集。

引用文献

- Nomura, S., 1997. A systematic revision of the Clavigerine genus *Diartiger* Sharp from East Asia (Coleoptera, Staphylinidae, Pselaphinae). *Esakia*, Fukuoka, (37): 77-110
- Nomura, S. & T. Komatsu, 2012. Two new subspecies of *Diartiger fossulatus* Sharp (Coleoptera, Staphylinidae, Pselaphinae) from Japan. *Esakia*, Fukuoka, (52): 9-15.
- Nomura, S., H. Kamezawa, & S. Arai, 2013. A review of pselaphine beetles (Coleoptera, Staphylinidae) from the Izu-shotô Isls., Tokyo, Japan. *Elytra*, Tokyo, new series, 3: 31-43.
- 野村周平・吉田正隆, 2019. 北海道利尻島のアリヅカムシ分布資料. さやばねニューシリーズ, (35): 35-38.

(野村周平 国立科学博物館動物研究部
(nomura@kahaku.go.jp))
(吉田正隆 770-0047 徳島市市東町1丁目295-1
(konchu@sea.plala.or.jp))



図1. ババツノヒゲアリヅカムシ♂(スケール:0.5 mm)。

【短報】伊良部島におけるババツノヒゲアリヅカムシの記録

伊良部島(面積約30 km²)は宮古島の北西に位置し、同島におけるアリヅカムシ亜科甲虫の記録は一例もない。筆者は同島新記録と思われるババツノヒゲアリヅカムシ *Babascenellus macroscapus* Nomura, 1995(図1)を採集したのでここに報告する。

1♂6♀, 沖縄県宮古島市伊良部池間添牧山, 9. X. 2019, 筆者採集・保管。

本種はNomura(1995)により石垣島から記載され、現在、宮古島、池間島、石垣島、西表島、波照間島、与那国島から知られている(野村, 2013; 柴田ら, 2013)。伊良部島では、開けた森林のリターを篩って採集した(図2)。

末筆ながら、原稿を校閲いただいた東京農業大学昆虫学研究室の小島弘昭教授ならびに国立科学博物館の野村周平博士に厚く御礼申し上げる。



図2. 採集環境(同島南東部の牧山)。

引用文献

- Nomura S., 1995. Descriptions of a new genus and a new species of the tribe Batrisini from Japan (Coleoptera, Pselaphidae). *Esakia*, Fukuoka, (35): 123-128.
- 野村周平, 2013. 宮古島および周辺島嶼で中瀬式ライトトラップ(NLT)によって採集されたアリヅカムシ. さやばねニューシリーズ, (12): 11-17.
- 柴田泰利・丸山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Volker Puthz・島田 孝・渡辺泰明・山本周平, 2013. 日本産ハネカシ科総目録. 九州大学総合研究博物館研究報告, (11): 69-218.

(樽宗一郎 243-0034 厚木市船子1737
東京農業大学昆虫学研究室)